

## 充実した子育て・教育環境へ

市では、安心して子どもを生み育てられる環境づくりを進めています。中でも重点的に取り組んでいるのは、子育て世帯の負担軽減と快適な教育環境の整備。「子育て・教育環境日本」に向けたさまざまな取り組みを紹介しします。

平成27年2月1日に市制60周年を迎えるに当たり、過去5年間に市が取り組んできた施策を、テーマ別に5回シリーズで紹介しします。▶第1回

### 子育て世帯を強力に支援

少子化や核家族化が進む中、子どもたちが健やかに育つ環境の整備や「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」の実現などが求められています。市では、子育て世帯の負担を軽くし、子育てしやすい環境づくりに努めています。

#### 待機児童を解消

切実な社会問題である待機児童の解消は、厚木市にとっても大きな課題です。市では平成22年度以降、3カ所の認可保育所(合計220人)を新設。25年度には既存施設の定員を10人増員

#### 休日保育を開始

就学前の子どもを持つ世帯からのニーズが高い休日保育を、認可保育所で始めました。24・25年度の2年間で延べ295人が利用。働きながら子育てをする世帯などに喜ばれています。  
園保育課 ☎25-2231

しました。また、一定水準を満たす保育施設「認定あつぎ保育室」は、24年度に2カ所(86人)新設。認可保育所への移行を支援するなど受け入れ体制を拡大し、待機児童ゼロを目指します。  
園保育課 ☎25-2231



子育て支援センター「もみじの手」は、アミュールあつぎに移転し県内最大規模の子育て支援施設に

#### 児童クラブを増設

留守家庭児童クラブでは、保護者が仕事や病気などで、放課

### 子どもの生きる力を育成

子どもたちには、自ら学び、考え、自らを律し、他者と協調しながら、たくましく生きる力が必要です。市では、安心して勉強できる環境を整え、確かな学力を身に付ける取り組みを進めています。

#### 学力向上を支援

24年度から、小学3年生以下のクラスで35人学級を実施。一人一人に目を向け、学力向上につなげています。英語や理科などの学力ステップアップ支援員の派遣や外国語指導助手の配置、小学校高学年での教科別の担任制なども実施し、学習支援体制の充実に努めています。  
園学校教育課 ☎25-2660  
(35人学級・教科別の担任制は教職員課 ☎25-2602)

#### 不登校・いじめ対策

不登校児童の早期発見、未然防止を図るため、小学校に9人

後に適切に保護できない児童(小学1〜3年生)を受け入れていきます。5年間で二つの児童クラブを増設。さらに定員を全体で85人増員しました。  
園こども育成課 ☎25-2582

#### 医療費助成を拡大

23年度に、子どもの医療費助成を中学卒業まで拡大しました。県内トップクラスの支援で、健康保険適用の医療費自己負担額を全額助成しています。  
園こども家庭課 ☎25-2230

### 子ども育成条例

子どもが元気で心豊かに成長し、保護者が子育てに誇りと喜びを感じられるよう、24年度に制定。地域で「子育て」を応援し、子どもの自ら「育つ力」を伸ばすことが重要なポイントです。条例では5月を「あつぎ子ども月間」、毎月第3水曜を「あつぎ家庭の日」としました。PR活動などを通じて、地域全体の子育てへの理解を深めます。  
園こども育成課 ☎25-2262



快適に勉強できる環境を整備

#### 冷暖房設備を設置

学習環境を充実させるために、25年度から冷暖房の設置を進めています。既に中学校の普通教室と音楽室に設置。28年度までに、全小学校の普通教室に整備します。  
園学校施設課 ☎25-2601

#### 耐震補強工事が完了

小中学校の耐震補強工事は、子どもの安全を最優先に考え、計画を早めました。22年度までに補強を必要とする61棟全ての校舎の耐震化が完了しました。  
園学校施設課 ☎25-2601

#### トイレ改修を実施

洋式便器の増設やバリアフリーへの配慮など、快適な学校生活を送れるよう、改修をしています。25年度までに小中学校



トピック 地球温暖化防止

# 地球温暖化防止と災害時の備えのために

# 自然エネルギーを効果的に活用

太陽光、水力、風力などの自然エネルギーは、絶えず繰り返し使え、発電時に二酸化炭素をほとんど排出しない優れた再生可能エネルギーです。市では、再生可能エネルギーの導入を促進し、地球温暖化防止と市民生活の向上に努めていきます。

東日本大震災による原子力発電所の事故をきっかけに、太陽光などの再生可能エネルギーへの関心が高まっています。市はことし3月、再生可能エネルギーを活用した「あつぎ元気地域エネルギー構想実行計画」を策定。「創エネ」「省エネ」「蓄エネ」を柱に、地球温暖化防止と災害時に備えた取り組みを進めていきます。

## 太陽光発電の普及を促進

市内で導入可能な再生可能エネルギー

ギーを検討した結果、立地や地形などを踏まえると、最も有効なのは太陽光発電、続いて太陽熱利用ということが分かりました。市では平成32年度までに、市内の太陽光による発電出力25メガワットを目指し、約7000世帯分に相当する電力を創出します。

太陽光発電システムを導入する戸建て住宅には補助金を交付するなど、毎年3000戸の設置を目指します。これにより、32年度には市内の戸建て約4800戸（約12%）に太陽光パネルが

設置されることとなります。

さらに、公共施設にも太陽光パネルの導入を推進。昨年度は北消防署依知分署やメジカルセンター、南毛利中、飯山小に設置しました。今後も各地区で、特に電源確保が重要な医療救護所や避難場所に導入を進めます。

その他、メガソーラー（大規模太陽光発電所）の導入支援や遊休地などを活用した太陽光発電の普及も図ります。

## 電力消費量の10%を削減

省エネは、各家庭で取り組める最も身近な地球温暖化対策です。LED（発

光ダイオード）照明や省エネ家電の導入など、方法はさまざまです。ガスなどを使って発電するエネファーム（家庭用燃料電池）は、発電時に発生した排熱を給湯に使うため、エネルギーの約85%を利用することができ、発電所などで作られたエネルギーの利用率は約37%なので、比べると大きな省エネです。ことし太陽光発電とエネファームを導入した谷雅之さん（40・戸室）は「補助金の制度が導入のきっかけになった。家族の節電の意識も高まっている」と笑顔で話します。市では他にも、環境に優しいスマートハウス（専用機器を使ってエネルギー消費量が適切に制御された住宅）

の導入を支援。補助金を交付し、普及を進めています（下参照）。さまざまな取り組みを進め、32年度までに市内一般家庭の電力消費量を10%削減（22年度比）することを目指します。

**災害時にも安心な蓄電池**

電気を蓄えられる住宅用蓄電池は、災害時の非常用電源としても活用できます。太陽光発電などと組み合わせると、普段は昼間に蓄えた電力を夜間などに使えるため、地球温暖化防止にも役立ちます。電気自動車とPCS（電力制御装置）を一体的に使用しても、電気自動車のバッテリーを非常時の蓄電池として利用できます。市では、これらの蓄電池の購入にも補助金を交付しています（下参照）。

地球温暖化防止には、一人一人の心が大切です。みんなで協力し、環境に優しいまちをつくりましょう。

環境政策課 ☎25-2746

# ひとまち元気



開所式で関係者とテープカット

市長 小林 常良

4月1日、市と農業委員会、農協の3者で「都市農業支援センター」を開所しました。都市と自然が調和する厚木市には、たくさん農地があります。これらは私たちに安らぎや潤いをもた

らし、地産地消や食育の推進に大きな役割を果たしています。

しかし最近では、農業従業者の高齢化や後継者不足、耕地面積の縮小、耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境にさまざまな課題を抱えています。「市内産の新鮮で安心安全な農畜産物を、安定的に提供していただきたい」という意味でも、都市農業の振興は市の重要な政策です。市では、これまで獣害防護柵の設置や農畜産物の地産地消の推進、施設園芸用燃料の購入支援などを実施してきました。

支援センターでは、3者の専門性を結集し、農業に関する相談・支援業務をワンストップ化します。農地の貸し借りの仲介や新たに農業を始めたい方への支援、鳥獣被害対策への助言などを通じ、都市農業の振興をさらに進めていきます。

## 市の助成制度

地球温暖化の抑制に向けて、市では環境に優しいスマートハウスなどの導入を支援しています。

- 住宅用太陽光発電システム  
《補助金額》1kw当たり1万円（上限3万5000円）《予定件数》300件
  - エネルギー管理システム（HEMS）  
《補助金額》1万円《予定件数》70件
  - 住宅用リチウムイオン蓄電池（PCSは、電気自動車と一体の購入に限る）  
《補助金額》5万円《予定件数》15件
  - エネファーム  
《補助金額》5万円《予定件数》15件
  - ゼロ・エネルギーハウス（エネルギーの創出量が消費量以上の住宅）  
《補助金額》10万円《予定件数》3件
- いずれも対象は市内在住の方。申請は設置後で、予算の範囲内で交付。



【上】 クリーンなエネルギーを使ってだんらんの時間を過ごす谷さん一家  
【下】 玄関横に設置されたエネファーム

## エネルギー利用の3つの柱

- ◆エネルギーをつくる 「創エネ」
- ◆エネルギーを節約する「省エネ」
- ◆エネルギーを蓄える 「蓄エネ」







樹齢500年と推定される妻田薬師のクスノキ



串田さん宅の生け垣は高さ4mほど

トピック  
緑化推進

いけがき  
「保護樹木・保存生垣10選」を決定  
豊かな緑を次世代に

豊かな緑は、私たちに安らぎを与えてくれます。市では、優れた景観の樹木や生け垣などを保護対象に指定し奨励金を交付。緑の保護に取り組んでいます。樹木などへの関心を高めるため、特に美しい樹木と生け垣各10選を決定しました。

緑化への関心を高める

神社などにある大木は、古くからの土地を見守ってきた地域の象徴です。生け垣は、見た目の美しさだけでなく、風よけや火災時の延焼防止などの役割を果たし、代々その家を守ってきました。地震の時にも、倒壊の危険性が少ないと注目されています。しかし、近年は管理に手間や費用が掛かることから減少傾向にあるため、市では保護に取り組んでいます。

10選の選出は、保護対象の指定の審査などに当たっている「緑を豊かにする審議会」の提案で始まりました。初めに、指定されている中からそれぞれ20件を選出。委員10人による投票の結果、ことし1月に10選が決まりました。樹木で最も得票数が多かったのは、妻田薬師にあるクスノキ。神奈川県の名木100選にも選ばれている大木です。生け垣で一番多くの票を得たのは、三田の串田さん(86)宅の生け垣です。マサキとモチノキの生け垣は、40mを超えます。

緑あふれるまちへ

市は、昭和52年に「緑を豊かにする事業推進要綱」を制定。保護地区などを指定し、奨励金を交付することで緑の保護に取り組んでいます。新たな保護指定の申請は、8月末まで受け付け、審査を経て決定します。指定には、規模などの基準を満たすこ

串田さんは「父親から受け継いで大事に守り育ててきた。手間は掛かるけど、その分愛着も湧く」と家族で手入れを続けています。審議会で会長を務める木村正典さん(52)は「樹木や生け垣は厚木市の財産。多くの人に見てもらい、緑への関心を高めることで保護につながっていったら」と期待を寄せています。10選は皆さんに見ていただけるよう、市ホームページで公開します。

平成26年度 市民参加手続きの予定

市民参加手続きの予定をお知らせします。個別の詳細は、今後の広報あつぎや市ホームページでご確認ください。皆さんのご意見をお待ちしています。 ☎広報課 225-2043

☎=審議会等 ☎=意見交換会 ☎=意向調査 ☎=パブリックコメント

対象行為	市民参加の内容・予定
地域包括支援センターに関する基準の条例の制定	☎5月~ ☎6月 ☎8月
(仮)指定介護予防支援事業者の指定等に関する条例の制定	☎5月~ ☎6月 ☎8月
(仮)工場立地法第4条の2第1項の規定による準則を定める条例の制定	☎5月 ☎7月 ☎8月
病院事業の設置等に関する条例の一部改正	☎6月 ☎7月~ ☎9月
老人福祉センター条例及び施行規則の改正	☎5月 ☎7月 ☎9月
子ども科学館条例施行規則の改正	☎8月 ☎10月
住みよいまちづくり条例施行規則の改正	☎10月
介護保険条例の改正	☎9月~ ☎11月
厚木南公民館新築移転に関する基本方針の策定	☎5月
第3次生涯学習推進計画の策定	☎6月~ ☎8月
(仮)文化芸術振興計画の策定	☎6月~ ☎8月
教育委員会基本方針の見直し及び(仮)第3期教育充実プランの策定	☎6月 ☎8月
火災予防条例の一部改正に伴う消防長告示	☎8月
第9次総合計画「あつぎ元気プラン」第2期基本計画の策定	☎5月~ ☎6月 ☎10月
(仮)地域ふれあい都市宣言文の策定	☎6月 ☎10月
自治基本条例の見直し	☎4月~ ☎6月 ☎10月
高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第6期)の策定	☎5月~ ☎6月 ☎11月
里地里山保全等促進計画の策定	☎7月~ ☎8月 ☎11月
(仮)市立小・中学校の通学区域再編成及び学校規模に関する方針の制定	☎11月
環境基本計画の改定	☎6月~ ☎7月 ☎11月
一般廃棄物処理基本計画の改定	☎6月~ ☎7月 ☎11月
障害福祉計画(第4期)の策定	☎4月~ ☎5月 ☎11月
情報化推進計画の策定	☎5月~ ☎5月 ☎12月
スポーツ施設の在り方についての検討	☎5月~ ☎12月
(仮)収蔵資料館建設計画の策定	☎5月~ ☎8月 ☎12月
「指定学校変更」承認の見直し	☎5月~ ☎平成27年1月

保護地区などの指定状況

保護樹木	77本
保存生垣	3509.2m
ふるさとの森	7万1602.75㎡
保護樹林	5800㎡
斜面緑地保存地区	41万6759㎡
自然環境保護地区	1万6323㎡

※平成26年2月28日現在

とが必要ですが(詳細は公園緑地課へお問い合わせください)。豊かな自然や緑は、市の魅力の一つです。緑を守り、潤いあるまちの姿を残していきたいでしょう。 ☎公園緑地課 225-2412

5月12日

あつぎ 元気Wave

CATV 5/1~放送

民生委員・児童委員の日

民生委員・児童委員は、地域の身近な相談役です。福祉のことでお困りの方は、気軽にご相談ください。



相談内容

高齢者、障がい者、児童問題に関する相談・援助など  
※地域を担当する委員は福祉総務課にお問い合わせください。

☎福祉総務課 225-2200



# 夢をつかむロボット

人々の暮らしを楽しく、快適に変えてくれるロボット。その性能は、社会の変動に合わせてさまざまな形に進化してきている。特集では、介護やまちおこしのために「夢をつかむロボット」の開発を目指す中小企業の経営者たちを追った。



あつぎ 元気Wave  
CATV 5/1~放送

「ここはもっと柔らかい方がいいかな」「素材を変えてみようか」。会話が弾むにぎやかな部屋には、管の付いたカラフルなグローブが並んでいる。集まっているのは、市内の中小企業の経営者たち。幼いころ、テレビや漫画の中で活躍するロボットに憧れた6人は、今、介護ロボットの開発を目指して活動している。

## ● まちおこしから始まった挑戦

「何とかして厚木を元気にできないか」。市内で写真店を営む北村正敏さん(62)は、まちの活性化に思いをはせていた。「厚木には製造業者も多く、工学系の大学もある。このまちをロボット産業で盛り上げよう」。

平成21年8月、北村さんは市内の中小企業の経営者たち5人に声をかけた。看板屋、酒屋、金物屋……。ロボットとは無縁ながら、まちおこしへの思いを分かち合った6人は「チームアトム」(以下、アトム)を結成。高齢社会を見据え、介護ロボットの開発に向けて動き出した。

## ● 介護ロボットとの出会い

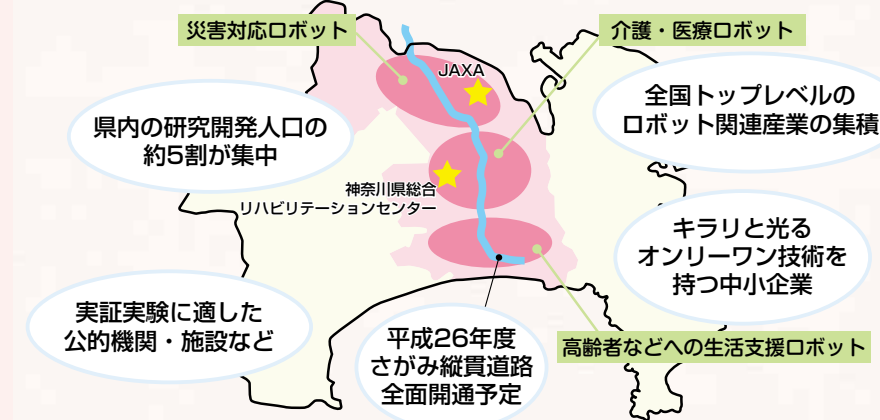
6人はこの年の春、市内にある神奈川県立川工科大学の山本圭治郎教授(71)を訪ねた。長年介護ロボットの研究を進めてきた山本教授は、自ら考案したまひの残る手のリハビリを補助する器具「パワーアシストハンド」(以下、ハンド)の実用化を提案した。

ハンドは、手の甲に付けられたプラスチック製の細い管へ空気を送り、指の開閉を補助する仕組み。柔らかい管は関節の動きを妨げず、空気力も強

生活支援ロボットの実用化を支援します。県総合リハビリテーションセンターなどがある厚木市は、介護・医療ロボットエリアとされています。

## さがみロボット産業特区とは

高齢化の確実な進行や自然災害に対応していくため、国がさがみ縦貫道路(圏央道)周辺の10市2町をロボット産業発展のための特区に指定。県が「実証実験をサポートしたり、法令の規制緩和を国に提案したりと



ことや、まひしている手が握ったまま固まってしまうとうまく装着できないことなどが分かってきた。

## ● 試行錯誤の開発

メンバーは、それぞれが本業を離れた夜に集まり、話し合いを進めた。素材や色、形も一から考えた。さまざまな種類の生地を調達し、自分たちでミシンをかけるなど、慣れない作業にも取り組んだ。作業を進めるうちに、関節の位置が人によって予想以上に違

## ● 患者の反応を得る

22年5月、メンバーたちは七沢リハビリテーション病院脳血管センターにハンドを持ち込んだ。「本当に患者の役に立つのか」と不安を抱えていたメンバーたち。山下俊紀院長(66)は「リハビリの理にならなくていい。画期的。実用化できれば患者の生活を変えられる」と歓迎し、快く相談に乗ってくれた。

「議論が白熱し、日をまたぐことも多かった」。代表の井浩二さん(62)は開発に打ち込んだ日々を振り返る。「議論が白熱し、日をまたぐことも多かった」。代表の井浩二さん(62)は開発に打ち込んだ日々を振り返る。

「苦勞の末に得たやりがい」  
ハンドはあくまでもリハビリの補助具であり、長期的に繰り返さなければ効果は出ない。時には、貸し出したハ



七沢リハビリテーション病院脳血管センターの協力の下、ハンドの実用性を検証



研究室ではメンバーの笑顔が絶えない(前列左が井さん。後列右から北村さん、山本教授)

## ロボットをまちの地場産業に

七沢リハビリテーション病院  
脳血管センター病院長  
山下俊紀さん

患者さんは元の動作ができるようになることを夢見てリハビリに励んでいます。回復が最も難しいとされるのが「握る・つかむ・つまむ」といった手・指の運動障害です。本来は開閉運動だけでも毎日何百回もの反復練習をする必要があります。病院で療法士が付き添ってリハビリできる時間には限りがあるので、患者さん自身が補わなくてはなりません。力が入らないわけですから、開閉するだけでも決して簡単ではありません。

チームアトムが開発したハンドは、反復練習を補助する画期的なものです。手の甲に装置を付けたことで、手を開く力を強化するだけでなく、つかむ、つまむといった動作も補助できます。商品化には苦勞もあると思いますが、自分たちを信じて頑張ってください。

市が特区に指定されたことを機にこのような開発が進めば、患者も介護者も救われ、ひいては介護費用の負担軽減にもつながるでしょう。ぜひ、このまちの地場産業として定着してほしいですね。

「アツギものづくりブランドプロジェクト(通称「ATSUMO」)」が、市のマスコットキャラクター「あゆコロちゃん」の顔をしたロボット「ロボコロ」を作製しました。ロボコロは、アミューあつぎのオープニングイベントでお披露目。全国的にも珍しい等身大二足歩行タイプです。プロジェクトは昨年5月に始動。産学官の連携によるまちおこしを目指し、市内の中小企業など約30社が参加しています。市が特区に指定されたことを受けて、会長の中村幹夫さん(66)やロボット開発を担当する岡本正行さん(48)がロボコロ製作を提案しました。試作機の作製を担ったのは、神奈川県立川工科大学の大学生たちです。図面を書き、設計、プログラミングまで全ての工程を担当し、作業は夜を徹することもありました。努力のかいあって、ロボコロはわずか10カ月で屈伸運動から歩行、旋回、起き上がり、ダンスと進化を遂げました。ことし2月には、声のオーディションを開催。厚木小4年の石井翔己さんを選出しました。試作機の完成を経て4月中旬、歯車や板金、ゴム、金属加工など材料の大部分が会員企業の部品からなるロボコロが誕生しました。「理科離れている子どもたちが、これを見てものづくりに興味を持ってくれれば」と笑顔を見せる岡本さん。中村さんは「これを機に産学官の絆を深めてまちづくりにつなげることが大切」と地域経済の発展を見据えます。ロボコロを進化させながら、新たなまちおこしのきっかけを探す同プロジェクト。まちの明日を担う産業の発展に、期待が膨らみます。

## ATSUMO 厚木のものづくり力が結集 等身大二足歩行ロボット「ロボコロ」誕生

「アツギものづくりブランドプロジェクト(通称「ATSUMO」)」が、市のマスコットキャラクター「あゆコロちゃん」の顔をしたロボット「ロボコロ」を作製しました。ロボコロは、アミューあつぎのオープニングイベントでお披露目。全国的にも珍しい等身大二足歩行タイプです。プロジェクトは昨年5月に始動。産学官の連携によるまちおこしを目指し、市内の中小企業など約30社が参加しています。市が特区に指定されたことを受けて、会長の中村幹夫さん(66)やロボット開発を担当する岡本正行さん(48)がロボコロ製作を提案しました。試作機の作製を担ったのは、神奈川県立川工科大学の大学生たちです。図面を書き、設計、プログラミングまで全ての工程を担当し、作業は夜を徹することもありました。努力のかいあって、ロボコロはわずか10カ月で屈伸運動から歩行、旋回、起き上がり、ダンスと進化を遂げました。ことし2月には、声のオーディションを開催。厚木小4年の石井翔己さんを選出しました。試作機の完成を経て4月中旬、歯車や板金、ゴム、金属加工など材料の大部分が会員企業の部品からなるロボコロが誕生しました。



試作機の作製にそしむ学生ら



ロボコロの動きの進化に喜ぶプロジェクトのメンバーたち(右が中村さん)



働相談と障がい者の就労に関する相談。☎当日直接会場へ。☎県かながわ労働センター県央支所 ☎296-7311。

### スーパーエンジョイタイム ～お庭で遊ぼう～

6月1日、10時～11時30分（雨天中止）。厚木保育所（中町1-3-3）。親子で運動や遊びを楽しむ。市内在住の2歳以上の未就学児と保護者20組。無料。☎5月23日までに子育て支援センター ☎225-2922へ。抽選。☎☎130957

### 市民ふれあいマーケット 出店者募集

6月8日、10時～14時（雨天の場合は15日）。厚木中央公園。家庭で不用になった物の販売。市内在住の方130店舗（高校生以下は不可）。出店料500円。☎往復ハガキに〒住所、参加者全員の氏名、日中に連絡が取れる電話番号、販売品目、返信先、自動車使用の有無（車種とナンバー）を書き、5月16日（消印有効）までに〒243-8511環境政策課 ☎225-2749へ。抽選。☎☎141014

### 特定優良賃貸住宅空き家 入居登録の募集

ファミリー世帯向け家賃補助付き賃貸住宅の空き家入居待機者を募集します。

《入居団地》①パル本厚木（旭町5-42-31）②ステラ本厚木（泉町15-11）③クリア・エスペロSK水引（水引1-12-24）④レグルール（愛甲2-4-20）《入居資格》①同居の親族がいる②所得が一定範囲内など《入居時期》空き家発生時。☎5月15日から住宅課、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所などで配布する申込書に必要事項を書き、郵送で5月29日（消印有効）までに〒220-0023横浜市西区平沼1-3-13株式会社ジェイエアメンティーハウス ☎045-321-2468へ。☎住宅課 ☎225-2330。先着順。

### 市立病院診療放射線技師募集

《試験日》6月7日《対象》①診療放射線技師の免許を有する②診

療放射線技師として病院での勤務経験3年以上の全てを満たす方若干名《採用》8月1日以降（予定）。定年（60歳）あり。☎市立病院や市役所本庁舎、本厚木・愛甲石田駅連絡所にある申込書（市立病院ホームページからダウンロード可）に必要事項を書き、直接または郵送で5月23日（必着）までに〒243-8588水引1-16-36経営管理課 ☎221-1570へ。書類選考あり。

### 日本赤十字社社員の募集

5月は赤十字社社員増強運動月間です。社員の募集にご協力ください。☎福祉総務課 ☎225-2200。

### 児童・高齢者用自転車 ヘルメット購入費を助成

自転車でのけがを軽減させるため、SGマーク付き自転車ヘルメットの購入費を助成します。

《対象》市内在住の13歳未満の幼児・児童の保護者または65歳以上の高齢者《助成期間》4月1日～平成27年3月31日《助成額》1000円（1000円未満の場合は購入額）。1人年1個まで。他の助成と併用不可《購入方法》助成券兼申請書に必要事項を書き、協力店舗にお持ちください。協力店舗などは市ホームページをご覧ください。☎くらし交通安全課 ☎225-2760。

### 幼児2人同乗用自転車の 購入費を助成

幼児2人同乗用自転車の購入費を一部助成します。助成を受けるには講習会への参加が必要です。

《対象》6歳未満の幼児を2人以上養育している家庭《助成額》購入費の2分の1（上限1万6000円）《講習会》6月21日＝睦合西公民館（及川667）、6月22日＝厚木小学校、6月24日＝相川公民館（下津古久703-2）。いずれも10時～11時30分。印鑑と体育館履きをお持ちください。☎電話またはファクス、Eメールに〒住所、氏名、電話番号、講習の希望日、参加する子どもの氏名と年齢、人数を書き、5月16日までにくらし交通安全課 ☎225-2760・☎221-0260・e-mail＝3400@

### あつぎ 元気Wave

ケーブルテレビ  
あゆチャンネル(11ch)  
放送時間(15分)

### 5月の広報番組ガイド

5月1日～15日 ◆夢をつかむロボット  
ロボットによるまちづくりに取り組む人々を紹介。  
①12時～②19時30分～③22時45分～ ※内容は変更する場合があります。

番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

city.atsugi.kanagawa.jpへ。

### 環境影響予測評価書案の縦覧

森の里東土地区画整理事業に関する環境影響予測評価書案の縦覧を実施しています。

《期間》6月2日まで（土・日曜、祝日を除く、8時30分～17時15分）《場所》都市計画課、小鮎・玉川・南毛利・緑ヶ丘・森の里公民館、県環境計画課、各地域県政総合センター環境部。☎都市計画課 ☎225-2401。

### 県央地域若者サポートステーションが開所

仕事に就きたい方や就職活動の方法が分からない方を支援する機関です。専門相談員がプログラムをつくり、個別相談を中心に皆さんをサポートします。

《対象》15歳～39歳の方と保護者《開所日》月～金曜、10時～17時（祝日・年末年始を除く）。土曜は、月1回開所予定《場所》あつぎ市民交流プラザ（4月28日から）。

### ●開所式・記念講演

5月8日、15時20分～。あつぎ市民交流プラザ。放送大学教授による記念講演。定員15人。無料。☎ファクスに〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、5月7日までに県央地域若者サポートステーション ☎297-3067・☎297-3068へ。抽選。☎青少年課 ☎225-2580。

### はかりの定期検査

取引や証明で使うはかりは、2年に1度の検査が義務付けられ、今年度は6月～8月に南部地区（厚木北、厚木南、南毛利、南毛利南及び相川、その他北部地区の一部）が対象です。検査は、県計量協会の検査員・検査補助員が、事業所や

店舗を巡回して実施します。検査を計量士に直接依頼した場合は、市の定期検査を受ける必要はありません。新たに市の定期検査を希望する場合は登録が必要です。☎消費生活センター ☎225-2155。

### みんなの声で つくるまち

#### 《意見交換会》

#### ■市いじめ防止基本方針の策定

5月10日、14時～15時。市役所第二庁舎。☎当日直接会場へ。☎学校教育課 ☎225-2660。

#### 《パブリックコメント》

#### ■市いじめ防止基本方針の策定

《閲覧期間》5月22日～6月20日。☎〒243-8511学校教育課 ☎225-2660・☎223-0089・e-mail＝8200@city.atsugi.kanagawa.jp

#### ■厚木南公民館新築移転に関する基本方針（案）

《閲覧期間》5月1日～30日。☎〒243-8511社会教育課 ☎225-2513・☎223-0089・e-mail＝8600@city.atsugi.kanagawa.jp

いずれも閲覧場所は、各課窓口、市政情報コーナー、アミューあつぎ、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、総合福祉センター、中央図書館、市ホームページ。応募資格は市内在住在勤在学の方または市内で活動する個人・法人・団体。応募は閲覧場所にある用紙を備え付けの「わたしの提案」箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで問い合わせ先へ。

### あつぎ健康相談ダイヤル24

相談（健康・医療・介護・育児・メンタルヘルス）・医療機関情報 さわやか1番 よいところ

☎☎0120-31-4156

医療機関を受診する前に電話で相談を ☎発信者番号は通知設定でおかけください

### オリジナルのガラス作品を作る

### ガラスアート教室 ☎☎130955

ガラス工房の職人を講師に迎えて教室を開催します。「吹きガラス」と「トンボ玉」に挑戦してみませんか。

《日時》6月1日 13時30分～16時

《会場》厚木ガラススタジオ（妻田北2-13-8）

《対象》市内在住在勤在学の18歳以上の方7人

《費用》5900円

☎電話またはファクスに講座名、〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、5月7日～12日に勤労者福祉サービスセンター ☎206-4151・☎206-4611へ。抽選。



初心者にも親切に指導

### 自分の生活習慣を実感する講座

### 「ザ・はかる」 ☎☎130952

保健師・栄養士が講師を務め、「はかって」気付く実感型講座を開催します。日頃の生活習慣を見直してみましよう。

《日時》6月6日 13時30分～15時30分

《会場》あつぎ市民交流プラザ

《対象》市内在住の方50人

《費用》無料。自分の1食分の量を握ったおにぎり、みそ汁（具なし）50cc程度、計算機をお持ちください。☎5月29日までに健康づくり課 ☎225-2201へ。抽選（落選者のみ5月30日以降に電話連絡）。



塩分や野菜の量を測定

### 小型家電回収ボックスの 設置場所を変更

小型家電回収ボックスの設置場所を一部変更しました。

《設置場所》市役所本庁舎1階市民ホール、アミューあつぎ、依知北・荻野・南毛利公民館

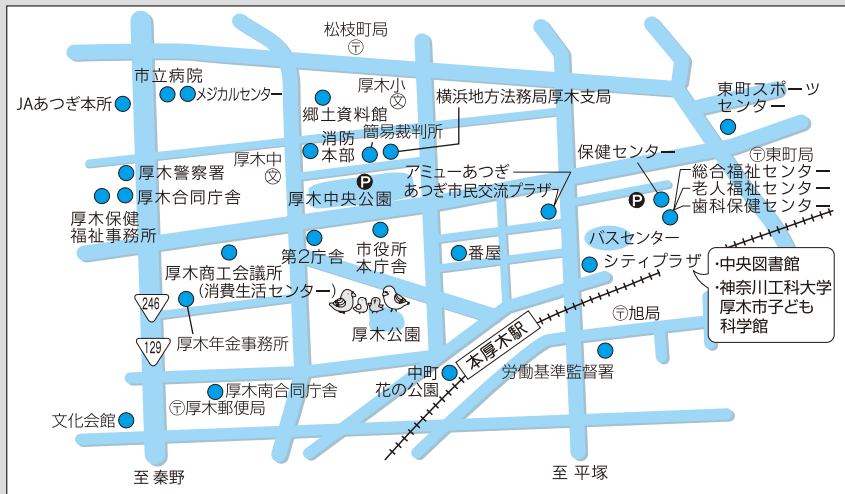
《回収できるもの》携帯電話、デジタルカメラ、電気コード類、ACアダプタ、携帯ゲーム機など30g以下の小型家電 ※個人情報などのデータは、消去してから回収ボックスに入れてください。

☎環境事業課 ☎225-2780





# タウンガイド



5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30					

## マイタウンクラブ

印の番号でウェブ上からも、詳しい情報をご覧いただけます。「01」と記されたものは、ウェブ上から申し込みができます。  
www.mytownclub.com  
[携帯電話は末尾に/cpを]

市制60周年カウントダウン事業

## 5月の青春劇場スケジュール

**10日** = 唄う！青春劇場第一部カラオケ大会（ゲスト・真咲よう子、立花伸一）。14時～15時。定員100人。500円。当日直接会場へ。先着順。**10日** = 唄う！青春劇場第二部アミューあつぎ開館記念歌謡ショー（ゲスト・真咲よう子ほか）。16時～17時30分。定員100人。2000円。商業にぎわい課☎225-2840へ。先着順。**24日** = あつぎ青春劇場落語会（出演・林家はな平）。11時～12時30分。定員100人。500円。当日直接会場へ。先着順。いずれも会場はアミューあつぎ9階。商業にぎわい課☎225-2840。

## 伝統芸能コラボレーション大会

5月25日、10時15分～。文化会館。剣詩舞道、箏曲、日舞、民謡、謡曲の共演。小学生以上の方375人。無料。当日直接会場へ。先着順。市文化協会・櫻田☎223-4844。

## 第27回ばら観賞会

5月18日、9時～14時。日本フル

ハーフ株式会社（上依知3034）。敷地内に植えられた約400品種・1000本のバラを楽しむ。育て方教室や苗木販売なども実施。無料。当日直接会場へ。日本フルハーフ☎286-8826。

## ソフトバレーボール教室

6月7・14・21日（全3回）、18時30分～20時30分。南毛利スポーツセンター（温水西1-27-1）。基礎技術の講習。市内在住在勤在学で小学生以上の方20人。1000円。ハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書き、5月15日（必着）までに〒243-0039温水西1-27-1体育協会☎247-7212・FAX248-7151へ。抽選。130936

## 初心者・シニアテニス教室

5月30日、6月6・13・20日（全4回）。9時30分～11時。南毛利スポーツセンター。初心者・シニアの方30人。無料（新品ボール2缶をお持ちください）。往復ハガキに〒住所、氏名、性別、電話番号を

書き、5月10日（必着）までに、〒243-0122森の里4-5-16市ファミリーテニス協会・座本☎248-7173へ。抽選。

## 防火管理資格取得等講習（甲種・乙種）

6月19・20日（全2回）、9時～17時。北消防署陸合分署（三田1475-1）。市内在住在勤の方70人。4650円（テキスト代）。6カ月以内に撮影した写真（縦4センチ×横3センチ）の裏面に氏名を書き、申込書を添えて5月20日～23日に予防課☎223-9370へ。先着順。

## 「骨盤スリム」体験講座

6月18日、19時～21時。あつぎ市民交流プラザ。骨盤周りのインナーマッスルを鍛え、引き締まった体を目指す。市内在住在勤在学の20歳以上の方15人。2000円。電話またはファクスに講座名、〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、5月7日～15日に勤労者福祉サービスセンター☎206-4151・FAX206-4611へ。抽選。130937

## 元気いきいき「物忘れ予防・脳いきいき教室」

6月5日～7月24日の毎週木曜。14時～16時（全8回）。あつぎ市民交流プラザほか。軽運動を取り入れた認知症予防教室。市内在住で65歳以上の方25人（要支援、要介護認定の方を除く）。無料。直接、電話またはハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、5月16日（必着）までに〒243-8511高齢福祉課☎225-2388・FAX221-1640へ。抽選（初めての方を優先）。130948

## ヘルスマイト（食生活改善推進員）養成講座

6月24日～2月12日（全12回）。あつぎ市民交流プラザほか。栄養・食生活に関する講義や調理実習などで推進員を養成。市内在住で食生活改善やボランティア活動に意欲がある方18人。3000円（食材費・資料代ほか）。5月30日までに健康づくり課☎225-2201へ。先着

順。110977

## 口の中の“がん”はどうやって治すの？

6月1日、11時～12時30分。あつぎ市民交流プラザ。厚木歯科医師会主催の歯学部教授による講演。定員100人。無料。5月1日から健康づくり課☎225-2201へ。先着順。130932

## 音訳（対面朗読）ボランティア養成講座

6月4日～8月6日の毎週水曜（全10回）。10時～12時。中央図書館。視覚障がい者へのボランティア活動に必要な音訳などの基礎知識を学ぶ。全てに参加し終了後に中央図書館対面朗読ボランティアグループ「糸の会」会員として活動できる方15人。無料。5月2日～28日に中央図書館☎223-0033へ。抽選。130953

## 日本赤十字社の講習

**救急員資格継続研修**  
6月7日、13時～17時15分。総合福祉センター。資格継続のための研修。資格取得から2年以上3年未満の方30人。800円。130946

## 養成講習会

6月8・14・15日（全3回）、9時～17時。総合福祉センター。心肺蘇生法と自動体外式除細動器（AED）の取り扱い、応急手当ての基本を学ぶ。15歳以上で全日程に参加できる方30人。3200円。合格者に認定証を交付。130947

いずれも申し込みは、往復ハガキに講習会名（継続研修の方は資格有効期限・認定証番号を記載）、〒住所、氏名（ふりがな）、性別、生年月日、電話番号、市外の方は勤務先または学校名を書き、5月20日（必着）までに〒243-8511福祉総務課☎225-2200へ。抽選（市内在住在勤在学の方を優先）。

## 街頭労働相談会

5月21日、11時～18時（障がい者の就労相談は11時～17時）。本厚木駅北口広場。賃金不払いや解雇、職場のハラスメントなどの労

## 第5回 議会報告会

市民の皆さんと情報を共有し、開かれた議会を推進するため、市議会主催の議会報告会を開催します。お気軽にご参加ください。



前回の報告会の様子

### 《日時・会場》

- ◆5月17日①10時～11時30分 = 依知南公民館（下依知406-1）  
②19時～20時30分 = 陸合北公民館（三田2735-1）
- ◆5月18日①10時～11時30分 = 緑ヶ丘公民館（緑ヶ丘2-2-1）  
②15時～16時30分 = あつぎ市民交流プラザ

※駐車場がない施設や駐車台数が少ない施設がありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

《内容》平成26年度予算（2月定例会）の審議概要の報告や意見交換など。当日直接会場へ。

☎議会総務課☎225-2701

## 市立病院「看護の日」記念行事

5月12日の「看護の日」を記念し、市立病院ではさまざまな催しを実施します。  
《内容》5月14日 = ワゴンティーサービス（入院患者対象）  
5月16日 = ロビーコンサート  
各セクションを紹介する写真展なども開催



美しい歌声で癒やしの時間を過ごす

☎経営管理課☎221-1570

## 第17回 少年少女フェスティバル

《日時》5月18日 10時～15時  
《会場》厚木中央公園（雨天の場合はシティプラザ6階）  
《内容》空気砲、紙ブーメラン、万華鏡などを親子で楽しく作る。

無料



☎青少年課☎225-2580





第38回

# 厚木市 さつしまつり

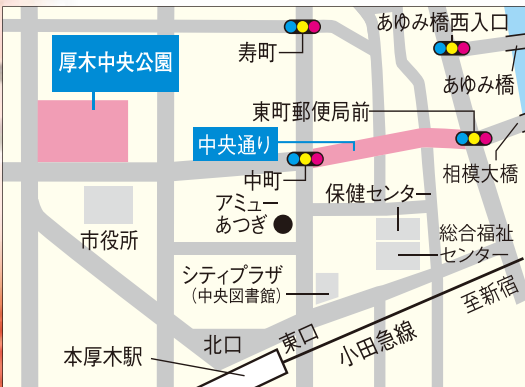
市制60周年  
カウントダウン事業



市の花「さつき」が会場を彩る厚木の初夏恒例のイベント。盆栽の展示や即売、子どもヒーローショー、みこしパレードなど楽しい催しが盛りだくさん。25日には、あゆこちゃんも会場を訪れて、祭りを一層盛り上げます。

日時 5月23日(金) ▶ 25日(日)

会場 中央通り・厚木中央公園



\*中央通り歩行者天国=25日、10時~18時

## 厚木中央公園会場

\*さつき盆栽の展示・即売 \*骨董市

## 中央通り会場

\*さつき盆栽の展示・即売

\*市民さつき展(出展希望者は、5月16日までに公園緑地課 ☎225-2412へ)

### 25日のみ

\*歩行者天国開始式 / 10時10分~

\*歩行者天国オープニングパレード / 10時30分~

\*優良さつき盆栽の表彰式 / 11時~

\*ステージ・ストリートパフォーマンス / 歌謡ステージ(宮川たかしほか)、みこしパレード、新極真空手模範演武、ダンスパフォーマンス、「烈車戦隊トッキュウジャー」ショー など

\*さつき苗無料配布(先着250人) / 16時~

園公園緑地課 ☎225-2412

※雨天の場合、一部の催しを中止する場合があります。



©2014テレビ朝日・東映AG・東映



## つつじが 元気に咲きました!

市民の手で植えられた5万2000本のツツジが会場を彩ります。ふれあい動物村など親子で楽しめるイベントも開催。ご家族そろってお越しください。

日時 5月10日(土)・11日(日) 10時~16時

会場 あつぎつつじの丘公園(森の里青山20)

内容 無料休憩所、骨董市、スタンプラリー、ふれあい動物村(雨天中止)など

交通アクセス バスセンター9番乗り場、または愛甲石田駅3・4番乗り場から乗車。「森の里5丁目」下車徒歩5分。

園環境みどり公社 ☎225-2774



## ニュースポーツを体験しよう スポーツなじみDAY

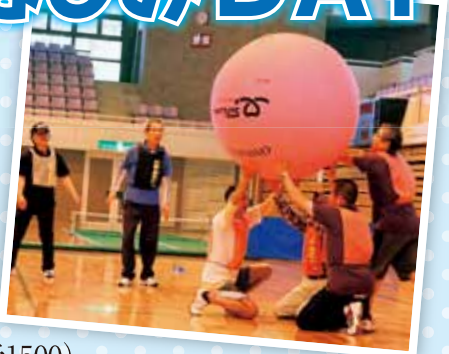
気軽に楽しめるニュースポーツを体験しませんか。各種目にアドバイザーがいます。ぜひご参加ください。

日時 5月17日(土) 10時~15時30分

会場 荻野運動公園(中荻野1500) ※雨天時は、屋内のみ実施。

費用 無料 ※室内履きをお持ちください。

種目 屋内=バウンスポール、キンボール、ドッチビー、カーレット、ビーチボール、ペタンク、体力チェックコーナー  
屋外=ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ、ペタンク



交通アクセス

バスセンター1番乗り場から半原行に乗り、「稲荷木」下車徒歩10分  
園スポーツ政策課 ☎225-2531

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)相鉄エージェンシー ☎045-450-1804へ。